

4. 貴重図書等

貴重図書

中条家文書（国指定重要文化財）

中条 敦氏旧蔵書 233通, 附中条家家譜類1巻5冊
米沢藩主上杉家家臣の中条家に伝来した鎌倉期から江戸期にわたる文書。中世の政治・社会・生活をうかがい知ることのできる文書で、平成4年6月に一括して国の重要文化財に指定された。ホームページに文書の画像と共に目録を掲載している。

文殊菩薩騎獅像（山形市指定文化財）

宝光院旧所蔵 掛け軸（絹本刺繍）1幅
最上義光ゆかりの寺院・山形市八日町の宝光院所蔵の「文殊菩薩騎獅像」は、永禄六年（1563年）に最上義光の母とされる永浦尼（えいほに）が作製し同寺に寄進したもの。昭和50年に山形市の指定文化財となっている。

歌仙集「家本」

天和2年(1682) 古写本（兼圍筆） 6冊 和歌本 歌仙家集本文研究者富士谷成章（1738～79）所持の「家本」。該本は27集が正保版本系本文、家持・金盛・順・重之・中務の5集は西本願寺本系、躬恒・兼輔・伊勢・赤人は別系統の4集として納められている。

奥羽道記

丸山可澄著 元禄4年(1691) 写本 1冊 紀行本
光圀の命で奥羽地方の史料を探策した際の日記。ホームページに全文画像を公開中。

佐久間文庫

佐久間森一郎氏旧蔵書 542点
江戸時代の和算家会田算左衛門安明の弟子の直系である佐久間家所蔵の最上流算書、関流算書、福田派算書、その他天文、暦、測量、航海、度量衡関係の和綴書。ホームページに目録を掲載するとともに、その一部（会田安明の著書146タイトル）の本文を画像化し「ゆうキャンパスリポジトリ」で公開している。

高橋文庫

高橋里美氏（元山形高等学校校長・東北大学学長）の旧蔵書 1,869冊
西洋哲学、特にドイツ哲学関係の図書。稀覯本多数。ホームページに目録を掲載。

大型コレクション等

上杉文書（マイクロフィルム）

市立米沢図書館所蔵の旧米沢藩主上杉家の藩政史料4,892点のマイクロフィルム版。 236巻。

近代中国史料叢刊、正編

本叢刊は沈雲龍教授の主編によるもので、台北文海出版社刊第一輯より、以下百輯によって成り、1966年10月に「近代中国史料叢刊」第一輯が発刊され、以下逐次刊行されて、1973年12月に「近代中国史料叢刊正編」として全百輯の完結をみたもの。 1,281冊。

Early British Periodicals（初期英国定期刊行物コレクション、マイクロフィルム）

主に18～19世紀にイギリスで刊行された定期刊行物162タイトルのバックナンバーで、政治・経済・思想など多領域にわたる内容を含んでいる。ホームページに目録を掲載。 568巻。

個人文庫

柳原文庫

柳原吉次氏（元本学教授）旧蔵書、599冊。大部分は和算関係の資料。ホームページに目録掲載。

角田文庫

トルストイ、チャーホフの英訳版、政治、経済、社会、商業、法規など各般に及ぶ洋書。当時大阪市に住む山形県出身の実業家角田益次郎氏の蔵書。後輩青年たちの学究意欲をかき立てる足しになると寄贈された。296冊。

細谷文庫

一般教養書が中心。昭和45年、現職で亡くなられた細谷恒夫元学長のご遺族から寄贈されたもの。1,993冊。

鈴木文庫

鈴木清夫氏から寄贈された鈴木家先祖の鈴木今介、今治により収集された最上流の和算資料。212点。

古文書（近世地方文書） 資料群として1,000点以上のもの

達磨寺村文書

旧・東村山郡達磨寺村、現・東村山郡長崎町の文書。1,667点。

伊勢屋源助家文書

旧・山城国京都、現・京都府京都で江戸時代に紅花問屋であった伊勢屋源助家の文書。文化期（19世紀初め）から明治末・大正期にかけての文書。山形紅花商人との商取引や金融取引関係の帳簿・証文などのほか紅花商業以外の営業活動（大名貸・農民貸、銀箔、町屋敷、地主小作など）の史料も含む。1,711点。

三泉村文書

旧・西村山郡三泉村、現・寒河江市三泉に伝わった文書。1,446点。

二藤部家文書

旧・北村山郡大石田村、現・北村山郡大石田町、二藤部家の文書。7,922点。分家等、1,233点。江戸時代の商取引関係資料、年貢の取付け帳、など多種にわたる近世地方文書で、近世農業経済、農政、最上川水運を知る上に貴重な資料。

最上院文書

旧・西村山郡醍醐村慈恩寺、現・寒河江市慈恩寺、最上院の文書。江戸期～明治期のもの。1,731点。

寺崎家文書

旧・北村山郡横山村、現・北村山郡大石田町の寺崎家文書。2,478点。

渡辺家文書

旧・北村山郡大石田村、現・北村山郡大石田町で、江戸時代から明治期にかけて川船問屋を営んでいた渡辺家の文書。1,593点。

宝光院文書

山形市八日町の寺院・宝光院に伝世した文書。元和9年（1623）～明治までの文書で、安永から安政年間（1772-1859）のものが多く、内容面では寺領関係文書を多く含む。また、江戸時代の境内絵図や中野村絵図などの貴重な絵図を伝えている。近世天台宗寺院研究の寺院経済・法脈関係を調査するための貴重な文書とされる。948点。